

平成27年度 政務調査活動実績報告

中内桂郎

高知県高知城歴史博物館は、その館は見事な仕上がりをみせた。あとはその内に求める展示する内容である。多くの人が見て楽しんで、これが高知県の歴史であると悟ってくれるような展示物が必要であると思う。また、新図書館問題については基礎部分について東洋ゴムから問題が付き遅れているようであるが今後については、このようなことがないようにしっかり各調整したうえで対応するように頑張ってもらいたい旨である。

2点目は観光産業への対応であるが 400 万人観光はクリアできてうれしく思う。しかし、いつまでも坂本龍馬に頼ってはダメである。新しい人を探し、その目玉にする人物が必要だと思うがいかなるものだろうか。職員は必死になって頑張っておるようにはお聞きをしているし、全力をもって職務に励んでいただけるような体制が必要だとも思うが残念でもある。しかし、いつまでも過去を追うことよりも、何かこれが高知県であるというような考えや発想の力が必要だと思うし、全力で頑張ってみようと思う。

3点目は南海トラフ地震対策ですが、国の方針によって新居地区は堤防が強震化されたことは大変有意義であり、感謝にたえない大きな喜びである。後は東へ、西の宇佐地区にも県の施行として計画があり、全力で対応してほしいと思う。全般的に県下一円には南海トラフ地震対応は出来ていると思うが、要は施設と人がうまくかみ合いが出来るか心配である。

4点目は教育であるが、小学生はまあまあと云う感がするが、中学生の数学は今少しの感がする。この点は小学生のときに基礎がしっかりと身につけていないのだと思う。うわべの成績をみるのではなく、実質的な将来像を見ながら頑張ってもらいたいと思う。

5点目の中山間対策は、残念だが執行部の考え方、対応の仕方と相反する考えを私はもつ。必ず数値的に出来るという信念は必要だが、それだけではダメだと思う。残念ですが余程のことが無い限り目標達成はできない。もう一歩前に進んだほうが良い。